

幸せの動物園 7つのコンセプト



それぞれの年代がそれぞれに楽しめるソフトウェアとハードウェアの確立。動物の幸せな様子が観られるようにし、子供たちを自然科学にいざなう。若者は恋人を誘い、障がい者は目を輝かせ、家族は連れ立って幸せな一日を過ごす。高齢者は子供たちの笑顔と森林浴を楽しみ、小鳥のさえずりに癒される

動物をつうじて、子ども達に生命の尊さを伝え、豊かな感受性・創造性を育む。「どうぶつ図書館」等の開設や、動物画の展覧会など、様々なイベントを開設する。大学などの研究所の併設も視野におき、種の保存、獣医学などに貢献する。

全ての人へ

学 び

設計の工夫

環 境

観光的価値

経済的自立

働 く

造園には環境に優しい自然素材を優先し、省エネルギーとエコロジーに対応する動物園をめざす。新潟の気候に配慮し、荒廃地を憩いの場となるように都市公園に変え、限られたスペースに充実した展示施設をもつ。

飼育施設の国際的評価基準を満たし、動物にストレスの無いゆったりとした環境に加え、来園者が動物のことを考えながら、楽しめる設計。

施設のネーミングライツ、グッズ販売、飲食施設の充実など入園料以外の収入も重視する。企業や個人が飼育費を支援する制度や、子ども達も気軽に寄付できる「どうぶつ募金箱」などを設置し、運営の参加意識を高めていく。

日本古来の生物種や新潟の固有種が生きづく田園の再現など、県外や国外からの見学者も訪れたい、個性豊かな動物園。外国語での案内標記など国際的に対応できる標記システムや、全てにおいて欧米並みの高いレベルのデザインを展開し、魅力を高める。年間会員制度やギフトショップ、レストラン、イベントの開催なども充実させ、来園者が何度も来てサポーターになるように促す。

多くの人に平等に門戸を開き、障害者など就職が困難な人材にも機会を広げる。外国語での案内、動物の説明、撮影の手伝いなど、社会人のボランティアが自由に参加できる。子ども達には教材として、園内の清掃や環境の整備などを体験させる。